



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東  
 コード番号 3600 URL http://www.fjx.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)山本 和良 (TEL)075(463)8111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,245	4.1	28	—	74	—	71	△46.7
27年3月期第3四半期	5,040	△2.4	△48	—	△13	—	134	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △45百万円(—%) 27年3月期第3四半期 406百万円(1.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	10.37	—
27年3月期第3四半期	19.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	11,454	9,415	75.3
27年3月期	11,564	9,580	75.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 8,629百万円 27年3月期 8,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	6,997	4.0	△14	—	20	—	15	△76.8
								2.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)―、除外 一社(社名)―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	7,340,465株	27年3月期	7,340,465株
28年3月期3Q	454,151株	27年3月期	452,840株
28年3月期3Q	6,887,020株	27年3月期3Q	6,888,602株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き緩やかな回復傾向を維持しましたが、中国やアジア諸国の経済減速や不安定な世界情勢に伴う下振れ懸念など、先行きの不透明感も強まってまいりました。

ファッションアパレル業界におきましても、高所得者や訪日外国人による消費の下支えは見られたものの、全般には、消費者の節約志向の強まりに加え、初冬の暖冬傾向により、冬物衣料品の売れ行きは総じて低調で、縫製を請け負う国や地域によってばらつきは見られるものの、日本向け衣料品の生産は、全般には慎重な傾向が続き、縫い糸需要も回復が見られませんでした。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、昨夏に国内で実施しました工業用縫い糸の価格改正に伴う前倒し受注や、為替換算レートの変動もあって、5,245百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

一方、利益面は、原材料等価格の高止まりや、工場の操業度低下、中国事業の減収などの減益要因もありましたが、国内グループ会社やベトナムおよびタイの子会社での増収や国内販管費削減などの増益要因により、営業利益は28百万円（前年同期は48百万円の損失）、経常利益は74百万円（前年同期は13百万円の損失）となりました。

なお、前年同期には中国子会社の移転に伴う受取補償金を特別利益に計上しましたが、当第3四半期連結累計期間にはその計上がないこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は71百万円（前年同期比46.7%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は、次のとおりです。

## 日本

当期間における国内の個人消費は、引き続き株高や大企業の賃金上昇を背景に、高所得者の消費は堅調で、増加する訪日外国人による消費の下支えも見られましたが、全般には輸入品や食料品、日用品の物価上昇傾向により、節約志向が強まる傾向にあり、消費にはばらつきが見られました。また、年末までの暖冬の影響で重衣料を中心とした冬物衣料品の売れ行きが低調であったことから、衣料品の生産も慎重な傾向が続いたほか、手作りホビー関連分野も全般には低調で、縫い糸の国内需要は回復傾向が見られませんでした。

当社グループにおきましては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めており、当第3四半期連結累計期間には、当社の平成27年4月から12月まで、国内子会社は平成27年2月から10月までの業績が連結されているため、前述の情勢や市況の影響は、各社ごとに若干相違があるものの、国内収益回復のための各社の諸策は徐々に成果も出始めており、前年同期に消費税増税後の駆け込み受注の反動があったことや、昨夏に実施しました工業用縫い糸の販売価格改定に伴う前倒し受注の影響などもあって、当セグメントの売上高は4,071百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

一方、利益面につきましては、原材料等価格の高止まりや、国内工場操業度の低下が引き続き製造コストを圧迫しておりますが、売上高の増加と販管費の削減効果などにより、当セグメントの利益は16百万円（前年同期は71百万円の損失）となりました。

## アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第3四半期連結累計期間には、平成27年1月から9月までの業績が連結されております。

当期間における日本向け衣料品の生産は、全体として慎重で抑制傾向が続いた上に、縫製の圧倒的なウェイトを占めていた中国においては、人件費の上昇や円安傾向の継続、一国集中リスクの回避などから、東南アジア諸国への分散傾向に歯止めがかからず、同国内はさらなる受注の減少や競争の激化で縫い糸の販売環境は一段と厳しさが増しました。

当社グループにおきましても、これらの状況を受けて、タイおよびベトナムの子会社では販売も増加傾向を維持しましたが、当セグメントにおいて最も販売比率が高い中国においては、縫い糸受注の減少と工場操業度の低下により、事業環境は一段と厳しさが増しました。

しかしながら、為替換算レートの変動もあって、当セグメントの売上高は1,173百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

一方、利益面につきましては、中国子会社の売上高の減少と工場操業度の低下、海外人件費の上昇傾向やアジア事業における先行経費負担などの減益要因が大きく、当セグメントの損失は15百万円（前年同期は37百万円の利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて109百万円減少し、11,454百万円となりました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金の減少169百万円、受取手形及び売掛金の増加30百万円、電子記録債権の増加61百万円、たな卸資産の減少131百万円、固定資産では、有形固定資産の増加144百万円、投資その他の資産の減少121百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて55百万円増加し、2,039百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加138百万円、未払法人税等の減少170百万円、その他流動負債の増加95百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて164百万円減少し、9,415百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少28百万円、その他有価証券評価差額金の減少21百万円、退職給付に係る調整累計額の増加19百万円、為替換算調整勘定の減少91百万円、非支配株主持分の減少41百万円などがありました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月12日に「平成28年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,348,176	2,178,263
受取手形及び売掛金	1,661,199	1,691,457
電子記録債権	31,850	93,118
たな卸資産	3,257,148	3,125,638
その他	125,530	209,418
貸倒引当金	△9,793	△14,120
流動資産合計	7,414,110	7,283,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,491,063	1,654,882
その他(純額)	828,383	809,321
有形固定資産合計	2,319,446	2,464,203
無形固定資産		
その他	299,752	297,649
無形固定資産合計	299,752	297,649
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,535,077	1,412,195
貸倒引当金	△4,223	△3,322
投資その他の資産合計	1,530,854	1,408,873
固定資産合計	4,150,053	4,170,727
資産合計	11,564,163	11,454,502
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	518,691	657,370
短期借入金	—	6,600
未払法人税等	187,856	17,536
賞与引当金	61,569	25,339
その他	328,054	423,377
流動負債合計	1,096,172	1,130,224
固定負債		
長期借入金	255,057	282,750
退職給付に係る負債	77,973	82,630
役員退職慰労引当金	194,949	193,673
資産除去債務	20,474	20,528
その他	339,107	329,219
固定負債合計	887,561	908,803
負債合計	1,983,734	2,039,028

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,207,917	6,178,944
自己株式	△107,562	△108,115
株主資本合計	7,781,693	7,752,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	367,051	345,129
為替換算調整勘定	685,262	593,815
退職給付に係る調整累計額	△81,196	△61,722
その他の包括利益累計額合計	971,116	877,222
非支配株主持分	827,618	786,082
純資産合計	9,580,429	9,415,473
負債純資産合計	11,564,163	11,454,502



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	5,040,798	5,245,040
売上原価	3,641,667	3,852,897
売上総利益	1,399,130	1,392,142
販売費及び一般管理費	1,447,994	1,363,913
営業利益又は営業損失(△)	△48,863	28,228
営業外収益		
受取利息	6,113	3,899
受取配当金	20,825	27,762
売電収入	3,826	8,698
受取奨励金	1,062	16,047
その他	21,478	18,369
営業外収益合計	53,305	74,776
営業外費用		
支払利息	9,888	11,440
為替差損	—	6,510
売電費用	5,277	6,645
その他	2,503	4,056
営業外費用合計	17,669	28,653
経常利益又は経常損失(△)	△13,227	74,352
特別利益		
固定資産売却益	1,398	—
投資有価証券売却益	—	10,815
受取補償金	244,360	—
移転損失引当金戻入額	18,436	—
特別利益合計	264,195	10,815
特別損失		
固定資産売却損	147	47
固定資産除却損	630	486
減損損失	70	103
特別損失合計	849	636
税金等調整前四半期純利益	250,119	84,531
法人税、住民税及び事業税	27,386	25,658
過年度法人税等戻入額	△40,137	—
法人税等調整額	30,082	△10,081
法人税等合計	17,331	15,576
四半期純利益	232,788	68,954
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	98,703	△2,469
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,084	71,424

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	232,788	68,954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,936	△21,921
為替換算調整勘定	89,968	△112,330
退職給付に係る調整額	60,912	19,474
その他の包括利益合計	173,817	△114,777
四半期包括利益	406,605	△45,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	286,849	△22,469
非支配株主に係る四半期包括利益	119,756	△23,353

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,920,662	1,120,136	5,040,798	—	5,040,798
セグメント間の内部 売上高又は振替高	239,854	557,890	797,744	△797,744	—
計	4,160,516	1,678,027	5,838,543	△797,744	5,040,798
セグメント利益又は損失(△)	△71,301	37,103	△34,198	△14,665	△48,863

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△14,665千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,071,719	1,173,320	5,245,040	—	5,245,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	211,552	532,583	744,136	△744,136	—
計	4,283,272	1,705,904	5,989,176	△744,136	5,245,040
セグメント利益又は損失(△)	16,402	△15,506	896	27,332	28,228

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額27,332千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。